



# よりどころ yori-dokoro

## ～鳳鳴館リニューアルプロジェクト～

### houmeikan renewal project

21910414 宮崎 漢



### 周辺環境と配置



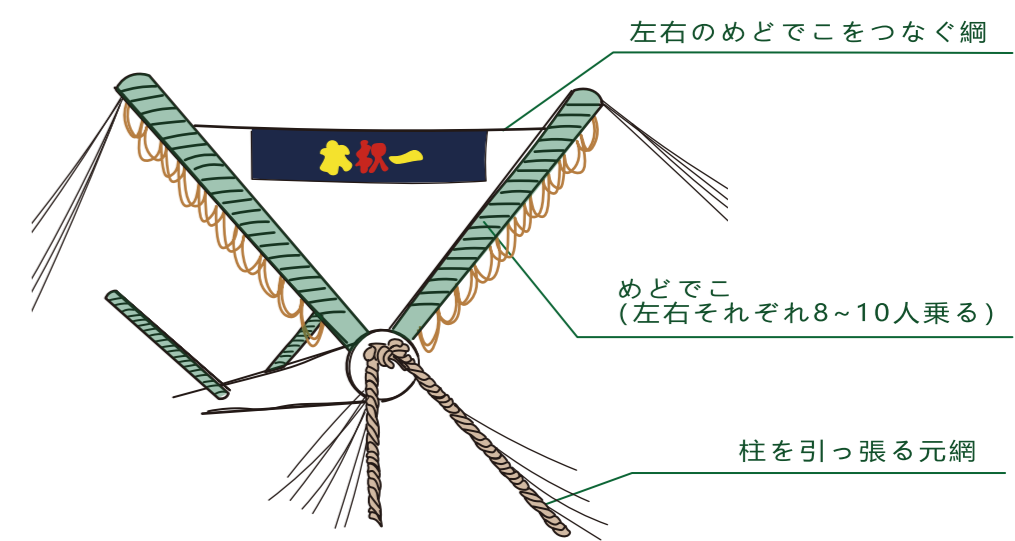
### 屋根の形状と構造

#### 「御柱祭」

日本三大奇祭の一つとされ、長野県諏訪地方で七年に一度行われる祭りである。御柱として、もみの大木を8本、諏訪地方各地区の各宮まで曳行し、社殿の四方に建てて神木とする。地区ごとに色があり、法被を着たりおんべを振って祭を盛り上げる。

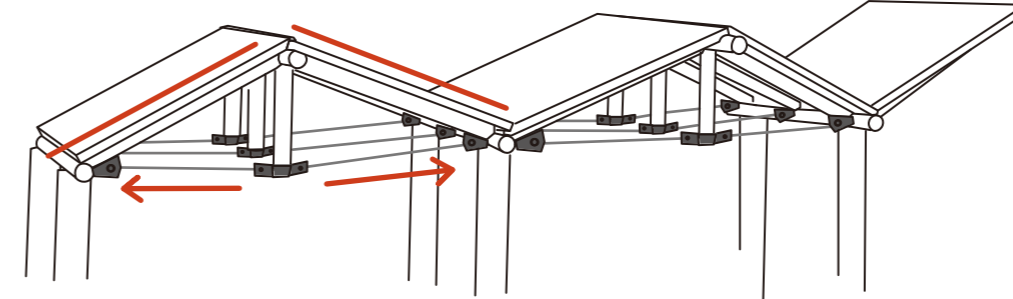


「御柱」長さ約17m、直径約1m、重さ約7.5t  
一本の柱を1000~3000人で曳く



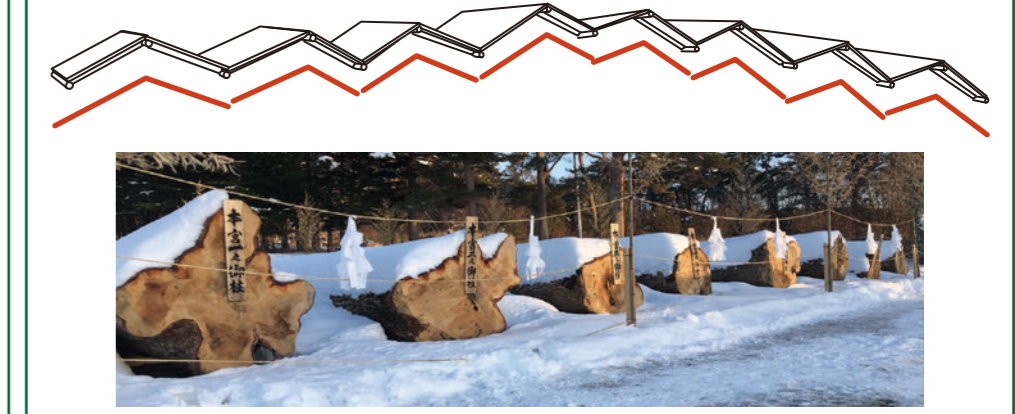
#### 1 屋根の構造

左右のめどでこをつなぐ綱  
緊張感のある構造  
↓  
梁と束を支える引張部材を  
細いワイヤーにする



#### 2 屋根の形状

御柱祭では、8本のもみの木を各宮の社殿に建てる  
八ヶ岳の稜線をモチーフにする  
↓  
鳳鳴館の屋根は8つの山形が連なるようにする

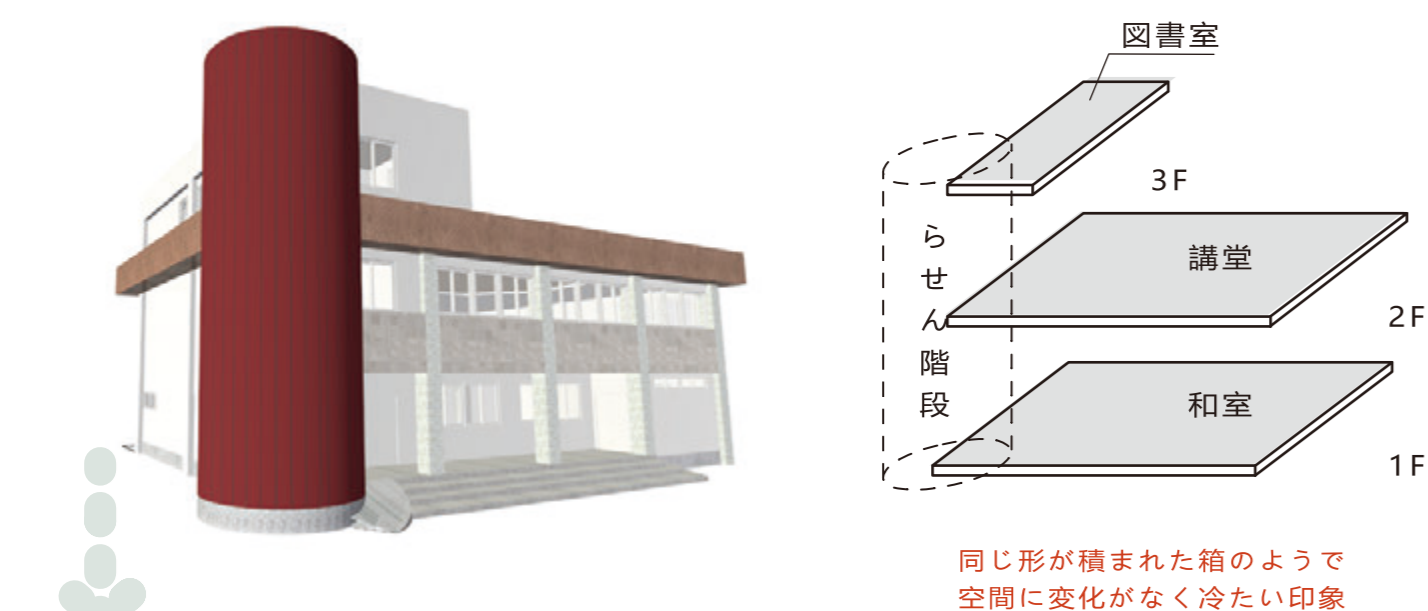


### 全体計画のコンセプト

地域住民だけでなく、来訪者とも交わることのできる 抛り(寄り) どころ  
としてきっかけをつくる。  
地域の人にずっと長く愛され続けてきた建物を残し、  
建築も長く使い続けることを目的とする。

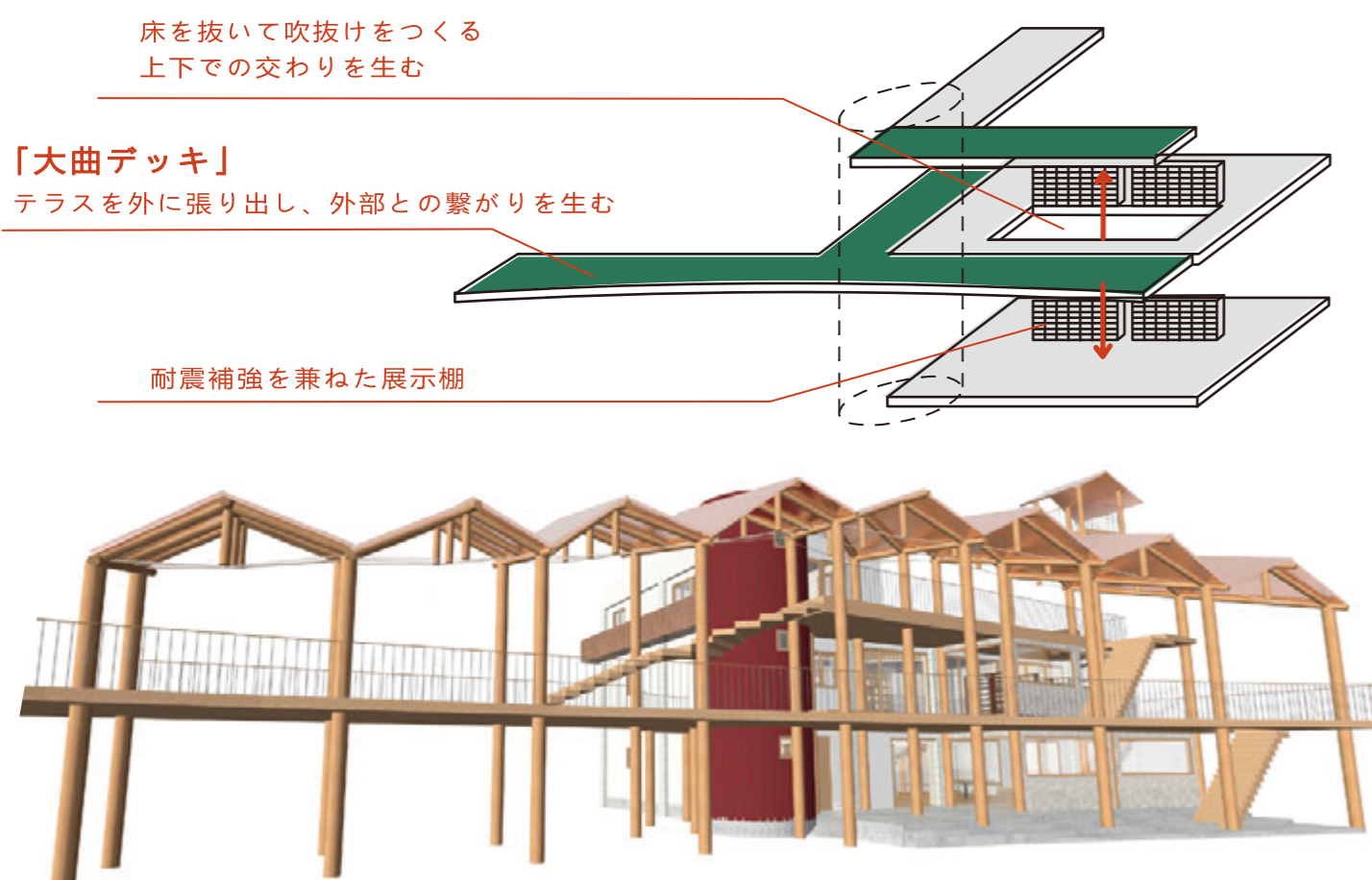
#### before

地区でのイベントがある時にしか使われない鳳鳴館  
建物の老化や少子高齢化が進み、様々な年代と交流する機会が少ない



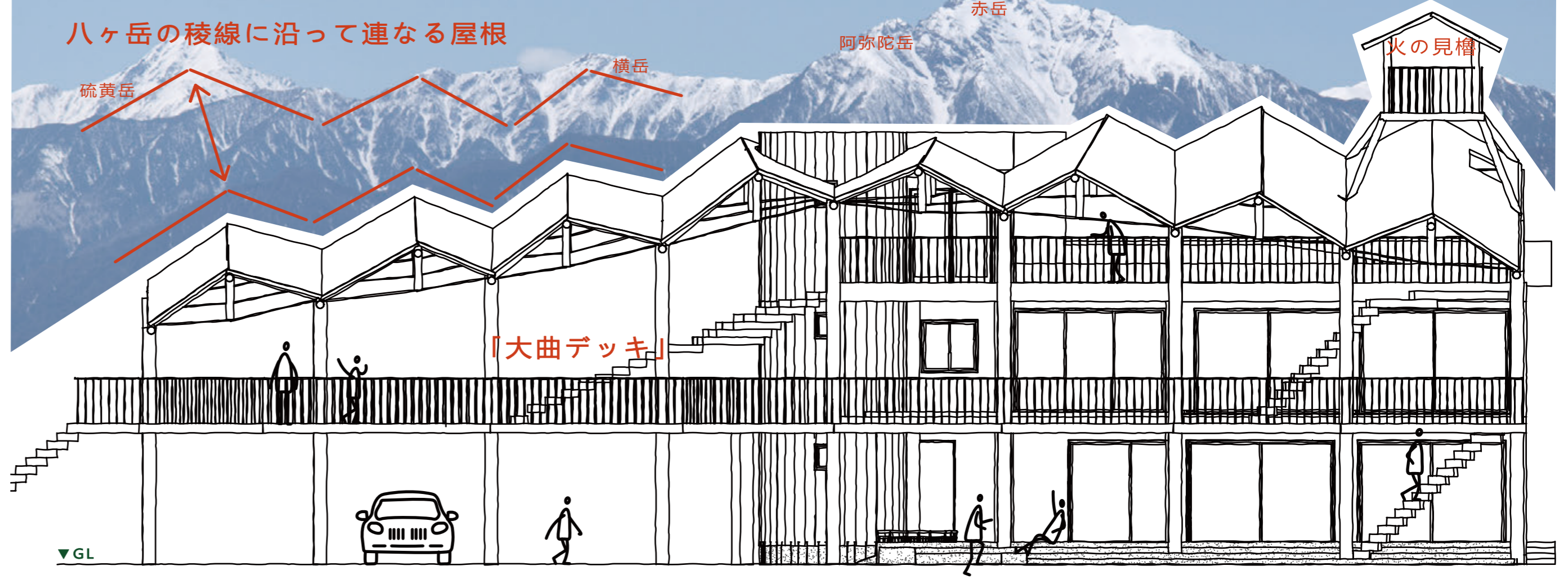
#### after

いつでも来訪者を迎えるオープンで開放的な雰囲気を目指し、  
人と人が交わる機能を設けてリノベーションをする



### 立面のデザイン

西立面図 S:1/100



### 断面のデザイン

断面図 S:1/100

御柱祭時に盛り上がりの中心となる大曲デッキ

#### 1 デッキの幅を変える

3Fのデッキを2Fよりも引き込むことで視界が開け、  
より多くの場所からでもみやすいように工夫

#### 2 屋根に角度をつける

視線を誘導し、御柱に注目が集まるようにする

